２０２０年度

環境学習プログラム

実施報告書

モリアオガエルを調べよう！

夏の「子どもパークレンジャーを目指そう！」

トンボたちを探そう！

冬の「子どもパークレンジャーを目指そう！」

六甲山を活用する会

六甲山を活用する会

Friends for Activating Life with Rokkosan

２０２０年度『環境学習プログラムの実施報告』発行にあたって

このたび、当会が開催しました２０２０年度の環境学習プログラムの報告書を作成しました。ご参加・ご協力いただきました皆さまに当会の活動を報告させていただきます。

当会の環境学習の活動は平成１７（２００５）年1月２３日に「六甲山の冬をあそぼう」を開催したことが発端です。六甲山の夏や冬を体験する試みを推進していることに共鳴された環境省近畿地方環境事務所から平成１９（２００７）年2月４日「子どもパークレンジャー～探ろう！冬の六甲山～」の企画運営を委託され、催しを３回実施しました。平成２０（２００８）年度からは当会が夏と冬の「六甲山子どもパークレンジャー」を主催し、ました。初夏のモリアオガエルと秋のトンボの「特別観察会」も加え、平成２１(２００９)年度から２６(２０１４)年度までは、ヒメボタルの夜間観察会も実施しました。当会の恒例行事として開催して１３周年になりました。

２０２０年度は、特別観察会（1）「二つ池でモリアオガエルを調べよう！」、２０２０年夏の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」、特別観察会（2）「二つ池でトンボたちを探そう！」、２０２１年冬の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」の４回の催しを四季の「六甲山子どもパークレンジャー」として、遂行しました。

当会が推進する環境学習プログラムは、六甲山ビジターセンターを拠点に、「まちっ子の森」や周辺地域を活動フィールドとしているのが特長です。六甲山上の対象地域の生態系や自然環境を活かした体験学習を充実していきます。

この報告書の発行を通じて、多くの皆さまに感謝の気持ちをお伝えいたします。

２０２１年2月
六甲山を活用する会
代表幹事　堂馬　英二

【目次】

１．発刊にあたって･目次 １Ｐ

２．２０２０年度特別観察会（１）「二つ池でモリアオガエルを調べよう！」 ２～６Ｐ
①案内チラシ、②参加のてびき、③実施記録アルバム、④実施報告書

３．２０２０年夏の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」 ７～１１Ｐ
①案内チラシ、②参加のてびき、③実施記録アルバム、④実施報告書

４．２０２０年度特別観察会（２）「二つ池でトンボたちを探そう！」 １２～１６Ｐ
①案内チラシ、②参加のてびき、③実施記録アルバム、④実施報告書

５．２０２１年冬の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」 １７～２１Ｐ
①案内チラシ、②参加のてびき、③実施記録アルバム、④実施報告書

６．「まちっ子の森･クラブ」サポート会員募集 ２２Ｐ

７．あとがき･奥付 ２３Ｐ

2020年六甲山子どもパークレンジャー・特別観察会

二つ池でモリアオガエルを調べよう！

2020年6月21日（日）　10時00分～15時00分

※小雨決行、雨具をご持参ください。
モリアオガエルが活動します。

募集定員：30名（先着順）
募集対象：小学3年生以上の学童、一般、
親子参加は5歳以上
参加費：500円（傷害保険・教材費実費）
集合場所：県立六甲山ビジターセンター
指導者：久門田　充氏他、運営スタッフ

小さなモリアオガエル

初夏の六甲山の森で、静かに生きているモリアオガエルとの出会い、卵塊の観察を楽しみませんか

まちっ子の森にいらっしゃい！

六甲山上の記念碑台から１０分くらい歩くと、二つの池を囲む雑木林の「まちっ子の森」があります。当会が整備している、六甲山上では珍しい自然の森を体験できます。

モリアオガエルの卵塊がいっぱい！

モリアオガエルの卵塊

そこにはモリアオガエルがたくさん棲んでいます。池のそばの樹木にソフトボールの大きさの真っ白な卵塊を産み付けるという珍しい繁殖をします。
今年はどれくらい多いか、みんなで調べてみましょう。

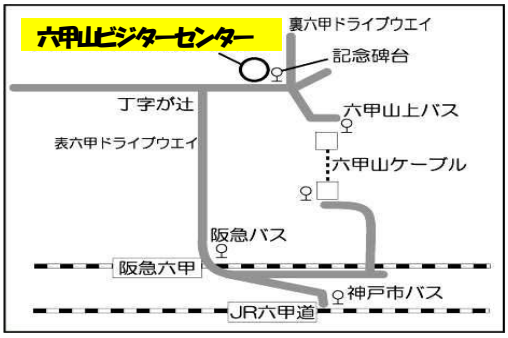
県民センター採択プログラム

「四季の六甲山」を体験する今期初のプログラムです。神戸県民センターの環境学習プログラム推進事業に採択されて補助を受けています。

スケジュール：

■９時３０分　集合・受付
・六甲山ビジターセンター
無料駐車場があります
■１０時００分～１０時３０分
・「二つ池の様子とモリアオガエル調べ」、「六甲山の森の再生」の説明
■１０時３５分～１３時５０分
・二つ池周辺に移動
・モリアオガエルの卵塊調査
・雑木林の散策と観察（昼食を含む）
・カエルの観察
■１４時００分～
・レクチャールームで・観察のまとめ
■１５時００分　解散

持ち物：弁当、水筒、雨具、筆記具、昆虫ポケット図鑑など。
服装：長袖・長ズボン、帽子、滑りにくい靴など
※蚊が多いので、蚊取り線香、防虫ネット、救急セットなど各自で防虫対策をしてください。



主催：六甲山を活用する会
共催：兵庫県神戸県民センター
（環境学習プログラム推進事業・補助）
助成：阪急阪神 未来のゆめ・まち基金、
コープこうべ環境基金

問合せ先：
六甲山を活用する会事務局
〒657-0024
神戸市灘区楠丘町 5-3-5
TEL＆FAX：078-843-1494
http://www.rokkosan-katsuyo.com/

QRコード

阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト

阪急阪神ホールディングスグループは、
従業員と共に、沿線の市民団体を応援しています。

※お申し込みＦＡＸ：０７８－８４３－１４９４
Ｅメールアドレス：info@rokkosan-katsuyo.com
下記にご記入の上、この案内用紙を切らずにファクシミリにてお送りください。
Ｅメールの場合は、観察会名と開催月日と下記の内容を送信してください。
お申し込みは6月7日（金）までにお願いします。

ふりがな
お名前①　（　　歳、男・女。　学校・幼稚園　年生）
ふりがな
お名前②　（　　歳、男・女。　学校・幼稚園　年生）
ふりがな
お名前②　（　　歳、男・女。　学校・幼稚園　年生）
ご住所　〒
電話：（　　）　－　ＦＡＸ：（　　）　－
Ｅメール

本事業は、第 11 回「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」より助成を受けております。

2020年度　環境学習プログラム　兵庫県神戸県民センター委託事業

六甲山子どもパークレンジャー・特別観察会

「二つ池でモリアオガエルを調べよう！」参加のてびき

このたびは「二つ池でモリアオガエルを調べよう！」にご参加いただき、ありがとうございます。
当日の進め方や注意事項などをご説明します。十分に準備をしてお越しください。

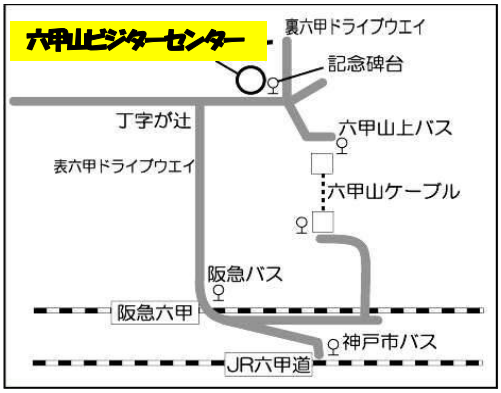
●とき・ところ

とき：2020年6月21日（日）　10:00～15:00　小雨決行
※中止の場合は**午前8時**までにご連絡します。
ところ：県立六甲山ビジターセンター、記念碑台周辺・まちっ子の森
当日の連絡先：六甲山を活用する会・事務局
　　堂馬（どうま）　TEL090－3288－0569

記念碑台／六甲山ビジターセンター

●集合場所・受付

集合場所：兵庫県立六甲山ビジターセンター
　　（TEL078－891－0616　開館は9:30～16:00）
集合時間：10:00　（解散は同じ場所で15:00）
（集合場所までの交通費は各自ご負担ください。
記念碑台には無料駐車場があります。
六甲ケーブル下9:00発のケーブル・山上バスが便利です）
受付：9:40から　（参加費をお支払いください。資料等を配付）
参加費：1人500円（教材、傷害・賠償保険料を含む）



●事前に「やってみたい・シート」記入のお願い

参加者に体験を整理していただくために、**「やってみたい・シート」**を用意しました。**（1）参加前－①参加されたのは？と②どんなことをやってみたいですか？」**の部分ご記入ください。運営の参考にさせていただきますので、当日受付にお出しください。

●服装・持ちもの

服装：帽子、長袖、長ズボン、長靴など（雑木林に入ります）、雨具類、防虫用品、マスク。
持ちもの：軽リュックサック、**弁当、水筒**、着替え（靴下の替え等）、タオル、ハンカチ、ポケットティッシュ、筆記具、ビニール袋（濡れたもの、ゴミ等を入れます）、おやつ（観察中は食べられません）、昆虫・両生類のポケット図鑑（持っておられる方はどうぞ）など。

●注意事項

静かに観察：記念碑台から徒歩10分の「まちっ子の森」と名づけた雑木林にある池で、モリアオガエルを観察・調査します。池のカエルが出てこなくなりますので、静かに観察します。まちっ子の森は国立公園内にあるので、植物や生きものを持ち帰ることはできません。
卵塊の調査：参加者の皆さんに調べていただいた調査結果はまとめて、資料づくりに役立てます。
防虫対策：蚊が多いので、蚊取り線香、防虫ネット、手袋、防虫スプレー、かゆみ止めなど、各自で対策してください。

●主催機関

主催：六甲山を活用する会
委託：兵庫県神戸県民センター
協力：神戸小動物生態研究会
運営：六甲山を活用する会　（お問い合わせ　TEL：090－3288－0569どうま）

六甲山を活用する会
〒657-0024　神戸市灘区楠丘町 5-3-5　ワークスタイル研究所内
ＴＥＬ＆ＦＡＸ：０７８－８４３－１４９４
E-Mail：info@rokkosan-katsuyo.com
http://www.rokkosan-katsuyo.com/

六甲山を活用する会

●当日のプログラム

9:40　受付開始　　六甲山ビジターセンター入り口前

（参加費はここでいただきます。出席確認、資料などの配付）

※早く着かれた方は六甲山ビジターセンター内の展示を見学され、記念碑台の広場で楽しんでいただくこともおすすめします。

10:00　六甲山ビジターセンター・レクチャールームに集合

10:05　あいさつ、「まちっ子の森」のお話

六甲山を活用する会　代表幹事　　堂馬　英二

スタッフ・グループの紹介：

10:15　モリアオガエルの観察・調査についてのお話

日本自然保護協会　自然観察指導員

久門田　充（くもんだ　みつる）

■お話1：「二つ池周辺の自然環境とモリアオガエルについて」

■お話2：「今日の観察と調査の進め方について」

モリアオガエルの卵塊

10:35　森へ移動、グループで観察調査～昼食

A・Bの2グループに分かれて、Aグループは下の池、Bグループは上の池で観察調査します。雑木林“まちっ子の森”で昼食をとり、六甲山の自然に親しんでいただきます。　各グループは20名程度、リーダーとサポーター3名でお世話します。（グループ編成表を配付）

出発前、「グループ活動・シート」に「活動のテーマ」を決めます。（記念写真撮影）

Aグループ（下池、主に経験者）	Bグループ（上池、主に初心者）
■二つ池周辺の自然（植物や昆虫、生き物など）・地形を観察しよう ■二つ池の水生生物を観察しよう ■下池のモリアオガエルを探そう！（動き回らずに静かに観察する） ■モリアオガエルの卵塊を調べよう！ ■下池で樹木別（マーキングもする）の卵塊調査をして、調査票に書き入れる。	■二つ池周辺の自然（植物や昆虫、生き物など）・地形を観察しよう ■二つ池の水生生物を観察しよう ■上池のモリアオガエルを探そう！（動き回らずに静かに観察する） ■モリアオガエルの卵塊を調べよう！ ■上池で樹木別の卵塊調査をして、調査票に書き入れる。
※調べたこと、気づいたこと、発見したことを「子どもパークレンジャー・手帳」にメモしよう！	

※各グループ単位で「まちっ子の森」の散策なども実施します。マイウッドの選定もしていただきます。

14:00　ビジターセンター・レクチャールームで、まとめ・休憩

「二つ池」「まちっ子の森」で観察・調査したことをまとめよう

各自が「やってみたい・シート」の（2）（3）を記入。そして、「グループ活動・シート」の（2）（3）に書く。

終わりのあいさつ

15:00　解散（気をつけてお帰りください）

●お願い

◆**広報写真のご了解**：参加された皆さんの活動ぶりを写真撮影し広報に活用します。写真の撮影や利用について、ご都合の悪い方は受付でお申し出ください。

※1. コロナ伝染防止：手洗い、マスク着用、三密防止などの対策をしています。皆さんご協力ください。

※2. 安全にご注意を：参加者には加入している「ボランティア行事保険」の範囲のみで補償します。運営スタッフは安全管理に留意しますが、自己責任で安全にご注意いただくようお願いします。

※3. 「まちっ子の森」プロジェクト：参加者は「まちっ子の森・クラブ」に登録して、継続的に行事案内をします。保護者の皆さんには、「サポート会員」に入会して、ご協力いただきたいと願っています。

※4. “六甲山ササ刈り隊”の募集：「まちっ子の森」と「散歩道」でアセビ伐採調査やササ刈りなどを行って、安全で快適な森や散歩道を散策できるように保全・整備しています。「六甲山ササ刈り隊」にご参加ください。

六甲山を活用する会

特別観察会「二つ池でモリアオガエルを調べよう！」
2020年6月21日

快晴のビジターセンター

展望デッキで受付

総勢45名がセンター前に集合

レクチャールームで説明

散歩道を森に向う

森の入口で準備体操

折りたたみイスの配付

上池で静かに観察

枝にいっぱいの卵塊

家族で昼食

家族で昼食

卵塊を調べる

センターに戻って解説とまとめ
右下はモリアオガエルの標本

東さんのマイウッド

荷物はワゴンで搬出

行事：2020年六甲山子どもパークレンジャー　特別観察会「二つ池でモリアオガエルを調べよう！」

開催：2020年6月21日（日）10時集合～15時00分解散
場所：県立六甲山ビジターセンター、まちっ子の森
目的：■六甲山の自然に親しみ、森の中で静かに生きているモリアオガエルとの出会いを楽しむ。
■二つ池でモリアオガエルの卵塊を観察し数える。
■まちっ子の森を散策して、マイウッドを決める
天候：晴れのち曇り　気温：19℃（まちっ子の森）
参加者：参加者子ども16名、大人17名、合計33名（男子10名、女子6名、男性10名、女性7名）
スタッフ：8名（男性7、女性1）、オブザーバ4名（男性3、女性1）
合計45名（男子10、女子7、男性20、女性9）
主催：六甲山を活用する会　**委託**：兵庫県神戸県民センター

実施概要：
1. 10時：あいさつ、グループ顔合わせ、ガイダンス
2. 10時50分：集合写真撮影後、まちっ子の森に移動。上池で15分静視。上池と下池で卵塊観察。
3. 12時～13時45分：上池と下池で水生生物調べ・森の樹木調べなど自由活動。森の中で昼食、マイウッド選定。
4. 14時00帰着～：カエルの話（写真、標本、卵塊など）を聞き、感想を発表して終了。15時00分解散

実施結果：
1. 卵塊調査：上池17個（昨年10個）、下池30個（昨年11個）、計47個（昨年21個）を確認した。昨年のほぼ倍増。
2. 森でやすらぎ：木陰にブルーシートを広げて家族で森林浴をし、昼食を楽しんだ。虫探しや樹木調べ、落ち葉のスライドショーやマイウッドの選定など自由に活動した。
3. 高い樹上に産みつけられた卵塊に感激していた。

2020年6月21日　六甲山を活用する会　事務局作成

イベント実施報告書（２０２０．６．２１）

イベント名称	2020 年六甲山子どもパークレンジャー　特別観察会 「二つ池でモリアオガエルを調べよう！」
主催・協力・後援など	主催：六甲山を活用する会 共催　：あすパーク 委託：兵庫県神戸県民センター 協力　：神戸小動物研究会、
実施目的・主要テーマ	■二つ池でモリアオガエルの卵塊の数を調べる。 ■まちっ子の森で、雑木林を散策してマイウッドを決める
開催日時	２０２０年6月２１日（日）　開始　１０時　００分～　終了　１５時　００分
開催場所	県立六甲山ビジターセンター、まちっ子の森
天　　候	天候：晴れのち曇り　気温：19℃（まちっ子の森）
イベント参加者	参加者　子ども　１６名、大人１７名、スタッフ８名、県民センター３名・環境省１名、総計４５名 参加者合計３３名　（男子：１０名、女子：６名、男性：７名、女性１０名）
運営スタッフ ■講　師	■A：L 久門田充、SL 中尾　啓子、支援　井上幸雄、川部忠夫 ■B：（L久門田）、SL 岡谷　恒雄、川田照義、伊谷正弘 オブザーバー：中村（環境省）、前田（県民センター）、東條・、三浦 本部：堂馬英二、村上和毅、安全：伊谷正弘、川部忠夫 受付：中尾・井上、岡谷・川田。進行：久門田。カメラ・記録係：村上・堂馬 事務局・報告書：堂馬
実施内容	1．〈開始時・活動前半〉：10 時 00 分開講、開催の趣旨を堂馬が説明。久門田講師からカエルについての基礎的な知識を紹介し、本日の調査内容を説明した。10 時 50 分、二つ池に移動して、AB両グループは上池で折り畳みイスに座って 15 分間静かに観察した。その後、Aグループは下池でもモリアオガエルの卵塊を数えた。（上池17個、下池30個）。Bグループは上池fでオタマジャクシなどを調査した。家族単位に森の木陰にブルーシートを広げて、昼食を摂り、樹木調査やマイウッドの選定で森の中を自由に散策。13 時 45 分にセンターに向った。 2．〈活動後半〉：14 時 00 分、久門田講師が用意したモリアオガエル標本やスライドなどを解説した。各自が観察会で体験したことをまとめ、アンケートに記入した。児童や保護者から感想を発表して、15 時00分に終了して解散した。
実施結果	1．梅雨時に天候に恵まれた：前々日に雨が降りモリアオガエルの産卵活動が活発になった、晴れから曇りになったが、森は19℃で涼しかった。 2．卵塊調査は倍増：二つ池上池で17個、下池で30個、合計37個（昨年は21個）を確認した。今年は直前の雨に恵まれ、モリアオガエルの卵塊の数は増えて感激の声が上がった。（10年以上前の最盛期は上下池で各50個を確認できた） 3．静かな15分観察は好評：二つ池でカエルの鳴き声を聞き分け、卵塊を探して、森の香りを楽しんだ。静かに周囲を観察することで五官が敏感にでき感激していた。 4．森に親しむ：家族が一緒に木陰で昼食をとり、自由に過ごすことで癒されたという声が多い。ありふれた森だが、ふだん経験できない体験ができたと、好評であった。 5．センターに戻って、準備したモリアオガエルのスライドを映写し、実物標本も展示した。体験発表ではモリアオガエルの卵塊を目にして手に取ってみた印象が語られた。
備　考 （会計、記録、保管資料等）	1．活用する会：24名、共催のあすぱーく：9名の13家族33名が参加した。コロナ伝染防止対策でレクチャールームが24名に制限されていたので、かなり窮屈な運営になった。森では自由活動できる時間をたっぷり取った。 2．初参加の子どもに「参加記念品」、3回以上の子どもには「たっぷり参加記念品」を贈呈し、用具を使って観察調査するように勧めた。 3．参加者・関係者に実施報告とアルバムを送付する予定である。 4．六甲道文化センターの常設展示ボードに活動写真を掲示し、ホームページにも活動報告を掲載し広報する。

2020年6月21日　作成：六甲山を活用する会・事務局

2020年夏の 六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！

森の木陰で活動の説明

家族そろってササ刈り

まちっ子の森

森に親しむ、森を調べる、そして森づくりへと、自然体験を進めていきます

六甲山上の“まちっ子の森”で自然の森を楽しみながら、池の生き物調べ、植物調べ、森づくり体験もしませんか！

とき：2020年8月16日（日）
集合：兵庫県立六甲山ビジターセンター
午前10時開始～午後3時解散
ところ：記念碑台周辺、まちっ子の森

A. パークレンジャーコース

定員：20名
対象：小学校3年生以上（児童のみ）
※まちっ子の森で、二つ池の生物の調査や、森づくり作業や調査を体験してみたい方

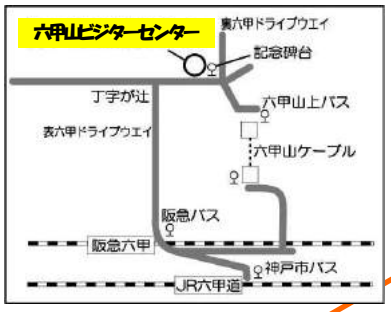
朝のプログラム　森で調べる！

夏の六甲山の自然に触れてみよう
・まちっ子の森で自然体感！
・二つ池の生きもの調査（久門田講師）
＜森の中で昼食＞

午後のプログラム

夏の六甲山の自然を調べよう
・森の樹木調べ、森づくりの体験など
・調べたことを発表しよう

参加費：500円（教材・保険等。交通費は個人負担）
持ち物：弁当・水筒・筆記具など
拠点は六甲山ビジターセンター
受付：午前9時半～
開始10時：開講のあいさつ



閉講のあいさつ
解散：午後3時

B. ファミリーコース

定員：20名
対象：子ども・家族、一般
※まちっ子の森で、二つ池のオタマジャクシを見たり、森の散策を楽しんでみたい方

朝のプログラム　森に親しむ！

夏の六甲山の自然に触れてみよう
・まちっ子の森で自然体感！
・まちっ子の森を調べてみよう
＜森の中で昼食＞

午後のプログラム

六甲山の夏の思い出をつくってみよう
・記念碑台や散歩道も歩いてみる
・夏休みの宿題にもとりくんでみよう

阪急阪神 未来のゆめ・まち プロジェクト

阪急阪神ホールディングスグループは、
従業員と共に、沿線の市民団体を応援しています。

六甲山を活用する会

【お申し込み・お問い合わせは】
主催：六甲山を活用する会／事務局
〒657-0034　神戸市灘区楠丘町5-3-5
TEL&FAX 078-843-1494
メール info@rokkosan-katsuyo.com
http:///www.rokkosan-katsuyo.com

QRコード

協力：兵庫県立人と自然の博物館、株式会社六甲山観光株式会社
後援（予定）：神戸市教育委員会、環境省近畿地方環境事務所、神戸県民センター、灘区役所
助成：コープこうべ環境基金、阪急阪神 未来のゆめ・まち基金

参加お申し込みの方は保護者名も含めてご記入の上、この案内用紙を切らずにファクシミリにてお送りください。
Eメールでお申し込みの場合は、行事の名称・開催月日と下記の内容を送信してください。
ＦＡＸ：０７８－８４３－１４９４　　Ｅメールアドレス：info@rokkosan-katsuyo.com

ふりがな
お名前①　（　　歳）Aコース・Bコース　（　　）学校・幼稚園（　　）年生

ふりがな
お名前②　（　　歳）Aコース・Bコース　（　　）学校・幼稚園（　　）年生

住所　〒

電話：（　　）　　－　　ＦＡＸ：（　　）　　－　　Ｅメール

※参加のお申し込みは、8月7日（金）までにお願いします。

本事業は、第11回「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」より助成を受けております。

2020年夏の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」
参加のてびき　（ウシガエル防除）

このたびは「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」にお申し込みいただき、ありがとうございます。
当日の進め方や注意事項などをご説明します。十分に準備をしてお越しください。
今回の活動拠点は**県立六甲山ビジターセンター**ですので、同センターに直接集合してください。なお、阪急六甲発記念碑台行きの**阪急バス**は9：15発のみです。**六甲ケーブル**の利用が便利です。また、直前の交通事情もご確認ください。

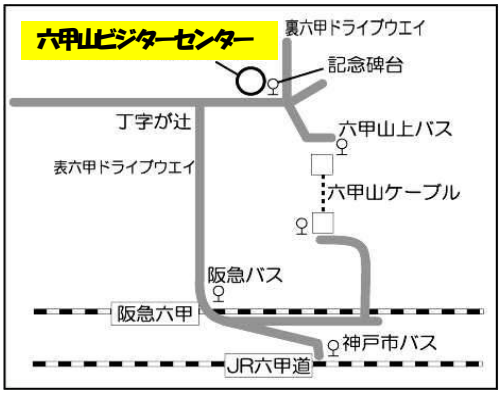
●とき・ところ

とき：**2020年8月16日（日）　10:00～15:00　小雨決行**
※中止の場合は午前8時までにご連絡します。
ところ：**県立六甲山ビジターセンター**、記念碑台周辺の雑木林
当日の連絡先：六甲山を活用する会・事務局
堂馬（どうま）　TEL090－3288－0569

六甲山ビジターセンター・展望デッキ

●集合場所・受付

集合場所：**兵庫県立六甲山ビジターセンター**
（TEL078－891－0616　開館は9：30～16：00）
※六甲ケーブルご利用の場合は、市バス16系統で六甲道発8：26、阪急六甲発8：30、六甲ケーブル下駅9：00発（20分おき）、ケーブル上駅～記念碑台は山上循環バスが便利です。
受付：**9：40から**　**（参加費をお支払いください。資料等を配付）**
（集合場所までの交通費は各自ご負担ください。記念碑台には無料駐車場があります）
参加費：**1人500円**（教材、傷害・賠償保険料を含む）



●事前に「やってみたい・シート」記入のお願い

参加者に体験を整理していただくために、**「やってみたい・シート」**を用意しました。参加する前に、**「（1）どんなことをやってみたいですか？」**の部分だけにご記入ください。運営の参考にさせていただきたいので、開催日までに FAX で事務局までお送りいただくか、当日受付にお出しください。

●服装・持ちもの

服装：帽子、長袖、長ズボン、長靴・ハイキング靴など、（水辺・雑木林に入ります）、軍手、雨具類。
持ちもの：軽リュックサック、弁当、水筒、着替え（靴下の替え等）、タオル、ハンカチ、ポケットティッシュ、筆記具、ビニール袋（濡れたもの、ゴミ等を入れます）、おやつ（観察中は食べられません）、植物や昆虫・両生類のポケット図鑑（持っておられる方はどうぞ）など。**※A・Bコースの方も水辺に行きますので長靴を持参してください。個人の記録用に写真を撮りたい方はデジタルカメラをお持ちください。（調査や整備の用具は当方で準備します）**

●注意事項

防虫対策：蚊が多いので、防虫ネット、手袋、防虫スプレー、蚊取り線香、かゆみ止めなど、各自で対策してください。

●主催機関

主催：六甲山を活用する会　　協力：兵庫県立人と自然の博物館、六甲山観光株式会社、神戸小動物生態研究会
後援：環境省近畿地方環境事務所、兵庫県神戸県民センター、神戸市教育委員会、灘区役所

※お問い合わせは「六甲山を活用する会」へ：TEL：078－843－1494

六甲山を活用する会

六甲山を活用する会
〒657-0024　神戸市灘区森後町 5-3-5
ワークスタイル研究所内
ＴＥＬ＆ＦＡＸ：０７８－８４３－１４９４
E-Mail：info@rokkosan-katsuyo.com

●参加者のコース分け

今回は参加者が15名ほどです。全員で二つ池の生態系を特定外来生物の脅威から守るために、特別に「ウシガエル駆除」の活動に取り組んでいただきます。参加者のご希望をうかがい、取り組んでいただく作業を選んでいただきます。自然環境について学習する貴重な機会にしてもらうよう配慮します。

ウシガエル

二つ池のウシガエル

●当日のプログラム

9:40　受付開始　　六甲山ビジターセンター入り口前

（参加費はここでいただきます。出席確認、資料などの配付）

※早く着かれた方はビジターセンター内の展示を見学され、記念碑台の広場で楽しんでいただくこともおすすめします。

10:00　六甲山ビジターセンター・レクチャールームに集合

10:05　あいさつ、「まちっ子の森」のお話し

六甲山を活用する会　代表幹事　　堂馬　英二

10:15　モリアオガエルとウシガエルについてのお話

日本自然保護協会　自然観察指導員

久門田　充（くもんだ　みつる）

10:35　森へ移動、グループで観察調査～昼食

雑木林“まちっ子の森”の上の池で水生生物を捕獲して調査をします。特定外来生物のウシガエルとそのオタマジャクシを捕獲して駆除します。木陰の下で昼食をとり、六甲山の自然に親しんでいただきます。グループは10名程度、リーダーとサポーター3～5名でお世話します。出発前、「グループ活動・シート」に「活動のテーマ」を決め、記念写真を撮影。

二つ池の生態系を守るために「ウシガエルを駆除する」活動	
“まちっ子の森”の雑木林や二つ池に親しみ、二つ池の生物を調べましょう	
水生生物の観察や調査をします。**※長靴を持参** モリアオガエルのオタマジャクシが池に一杯のころです。最近、ウシガエルが生息していることがわかりました。動くものは何でも貪欲に食べてしまうウシガエルによって、これまでの二つ池の水生生物はどうなっているか、調べます。	二つ池の水生生物の種類と数量を調査します。そして、大きなウシガエル3匹などを捕獲します。オタマジャクシを捕獲して、ウシガエルとモリアオガエルを選別します。 ウシガエルとウシガエルのオタマジャクシを駆除します。
※調べたこと、気づいたこと、発見したことを「子どもパークレンジャー・手帳」にメモしよう！	

12:25～13:00　昼食（各自ご用意ください。状況によっては、六甲山ビジターセンターで昼食をとります）

二つ池の生態系を守るために「ウシガエルを駆除する」活動	
夏の六甲山の「まちっ子の森」で観察・調査したことをまとめます。**「ウシガエル駆除」活動**はこれまで経験したことのない体験だったでしょう。 実際に体験してどんなことを感じましたか？	今回は外来生物から生態系を守ることを実践しました。**「ウシガエル駆除」活動**を通じて、複雑な思いも抱かれたでしょう。貴重な学習になりますので、気づいてことを記してください。は

14:00　自然保護センター・レクチャールームで、まとめ・休憩

「ウシガエルの駆除」活動で、体験したことや発見したことを学習したことのまとめをしよう

各自が「やってみたい・シート」の（2）（3）を記入。そして、「グループ活動・シート」の（2）（3）に書く。

終わりのあいさつ　　**15:00　解散（気をつけてお帰りください）**

●お願い

◆**広報写真のご了解**：参加された皆さんの活動ぶりを写真撮影し広報に活用します。写真の撮影や利用について、ご都合の悪い方は受付でお申し出ください。

※1. コロナ伝染防止対策：マスク着用、手洗い、消毒。3密防止対策などにご協力をお願いします。

※2. 安全にご注意を：参加者には加入している「ボランティア行事保険」の範囲のみで補償します。運営スタッフは安全管理に留意しますが、自己責任で安全にご注意いただくようお願いします。

※3. サポート会員募集：参加者を「六甲山子どもパークレンジャー・クラブ」に登録し、継続的に行事案内をします。

六甲山を活用する会

2020年夏の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」

2020年8月16日 参加者22名、総勢29名 六甲山ビジターセンター・まちっ子の森

8月16日（日）10:00～15:00、恒例の「夏のパークレンジャー」開催しました。参加者は直前に3家族12名が欠席しましたが、子ども13名・大人9名・スタッフ7名の29名が参加しました。天候は晴れで27℃の観察日和です。ビジターセンターで「ウシガエル捕獲と生きもの調べ」の解説を受けて、まちっ子の森に移動しました。上池でウシガエルの捕獲を見学し、生きもの調べに熱中しました。昼食後、センターに戻って、観察や体験をまとめて、15:00に解散しました。

二つ池で水辺の生きもの調べ

オオルリボシヤンマ

オオルリボシヤンマのヤゴ

ウシガエルの防除にも取組みました

下池でササ刈りも体験

かすがこども園グループのマイウッド

木陰で昼食をみんなで楽しみました

参加者は子ども13名、大人9名です。午前中は二つ池でウシガエルの捕獲調査を観察し、水辺の生きものを調べました。年長者は下池でササ刈りも体験しました。少人数でゆったりと夏の森を楽しみました。六甲山を活用する会

イベント実施報告書（２０２０．８．１６）

イベント名称	２０２０年夏の「六甲山子どもパークレンジャー」（ウシガエル防除）
主催・協力・後援など	主　催　：　六甲山を活用する会 協　力　：　県立六甲山ビジターセンター 後　援　：　兵庫県立人と自然の博物館、環境省近畿地方環境事務所、灘区役所，神戸市教育委員会
実施目的・主要テーマ	■　夏の六甲山の自然に触れてみよう ■　二つ池の生きものを調べよう！（ウシガエル駆除の調査）
開催日時	２０２０年８月１６日（日）　開始　10 時　00 分～　終了　15 時　00 分
開催場所	六甲山ビジターセンター、まちっ子の森
天　　候	天候:　曇りのち晴れ　気温:　24℃（まちっ子の森）
イベント参加者	総参加者：こども１３名、大人９名、スタッフ5名、オブザーバー2名　計２９名 参加者合計２２名　（男子：６名、女子：７名、男性：３名、女性６名）
運営スタッフ ■講　師	■池中・ウシガエル捕獲：久門田（１名） ■生きもの調べＡ：（３家族７名）【支援】岡谷恒雄（１名） ■生きもの調べＢ：（５家族１５名）【支援】伊谷正弘・川田照義（２名）　※小学低学年 ■本部：堂馬英二（１名）
実施内容	1. <開始時・活動前半>:　10 時 15 分開講、堂馬からまちっ子の森の紹介、久門田講師から「ウシガエル捕獲と生きもの調べ」を解説し活動予定を説明した。10 時 50 分、二つ池の上池に移動して、「ウシガエル捕獲・生きもの調べ」。 「捕獲」グループは、胴長靴上を着用し、上池でウシガエルを捕獲して生きものを採取する。倒木処理も実施。「生きもの調べ」グループは、採取した生きものを選別して、調査・記録。 2. 昼食・午後の活動:～13時45分: 捕獲したウシガエルなどを鑑賞。森を散策してマイウッドを選定。 3. <活動後半>：13時過ぎに、まちっ子の森を後に六甲山ビジターセンターに戻った。14時10分～14：50、久門田講師の指導で、自然体験のまとめ。全体で1日の活動を振り返って感想や意見を紹介し、今後の取り組みを述べた。15時前に終了し解散した。
実施結果	1. 天候は曇りで27℃、熱中症の対策も講じた。 2. 今回の「夏のパークレンジャー」では昨年に引き続いて、「ウシガエル駆除のための調査」を加えて、特定外来種の防除について、関心を高めた。 3. ガイダンスの際に、特定外来種の脅威やウシガエルの特徴などを解説し、生態系の保全についての理解を深めた。ウシガエルの捕獲は難しく、池中での活動での収穫は無かった。前もって仕掛けた捕獲網で捕獲した。 4. オオルリボシヤンマやそのヤゴも捕獲できた。 5. 継続参加の年長者がササ刈りの体験を希望し、二つ池下池周辺のササを刈った。 6. 二つ池の生態系を保全することに理解と賛同が高まったのが最大の成果といえる。参加者各自が外来生物について、ひいては環境や生き物との関わりを深く考えることにつながることを期待した。
備　　考 （会計、記録、保管資料等）	1. 参加予定者の3家族12名が欠席した。 2.「特定外来種・ウシガエル」のリーフレットを配付した。今後、「ウシガエルの防除」に継続的な取り組みをする。 3. 参加者・関係者に実施報告とアルバムを送付する予定である。

2020年8月16日　作成：六甲山を活用する会・事務局

2020年六甲山子どもパークレンジャー・特別観察会

二つ池でトンボたちを探そう！

2020年9月20日（日）　10時00分～15時00分

※雨天の場合は9月27日(日)に順延
募集定員：30名（先着順）
募集対象：小学3年生以上の学童、一般、
親子参加は5歳以上
参加費：500円（保険・教材費実費）
集合場所：県立六甲山ビジターセンター
指導者：久門田　充氏他、運営スタッフ

ルリボシヤンマをつかまえた！

初秋の「まちっ子の森」で、ルリ色に輝く美しい大型の「オオルリボシヤンマ」を探し、池の水生生物も調べます

まちっ子の森にいらっしゃい！

夏には雑木林に囲まれた「二つ池」をモリアオガエルのオタマジャクシが埋めつくしていました。秋にはカエルに成長した姿が観察できます。
六甲山上の「まちっ子の森」で自然の森を体験してみませんか。

トンボたちを調べよう！

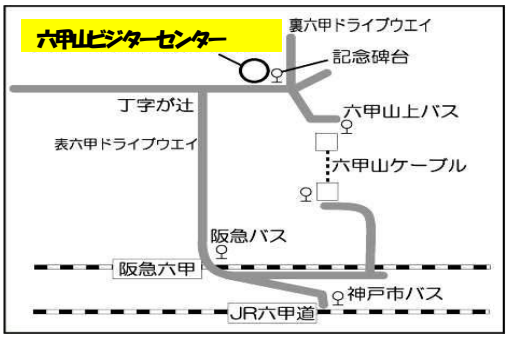
林の中に消えて行くカエルにかわって、二つ池で生まれたさまざまな種類のトンボが飛んできて、産卵を始めます。トンボやその他の水生性物を一緒に観察・調査して生きものの営みを知りましょう。

県民センター採択プログラム

神戸県民センターの環境学習プログラム推進事業に採択されて補助を受けています。

スケジュール：

■9時30分　集合・受付
・六甲山ビジターセンター
無料駐車場があります
■10時00分～10時30分
・「二つ池とトンボたち調べ」説明
■10時35分～13時50分
・二つ池周辺に移動
・オオルリボシヤンマの観察
・雑木林の散策と観察（昼食を含む）
・トンボのヤゴなども観察
■14時00分～
・レクチャールームで・観察まとめ
■15時00分　解散
■持ち物・服装：弁当・水筒、長袖・長ズボン、帽子、滑りにくい靴、防虫ネット、救急薬品（ムヒなど）、捕虫網（捕らえても持ち帰れません）、筆記具、昆虫ポケット図鑑など



主催：六甲山を活用する会
共催：兵庫県神戸県民センター
（環境学習プログラム推進事業・補助）
助成：阪急阪神 未来のゆめ・まち基金、
コープこうべ環境基金

問合せ先：
六甲山を活用する会事務局
〒657-0028
神戸市灘区森後町 2-3-7
TEL：050-3743-9897
FAX：078-856-6616

QRコード

阪急阪神 未来のゆめ・まち プロジェクト

阪急阪神ホールディングスグループは、
従業員と共に、沿線の市民団体を応援しています。

※お申し込みＦＡＸ：０７８－８４３－１４９４
Ｅメールアドレス：info@rokkosan-katsuyo.com
下記にご記入の上、この案内用紙を切らずにファクシミリにてお送りください。
Ｅメールの場合は、観察会名と開催月日と下記の内容を送信してください。
お申し込みは9月11日（金）までにお願いします。

ふりがな
お名前①　（　　歳、男・女。　学校・幼稚園　年生）
ふりがな
お名前①　（　　歳、男・女。　学校・幼稚園　年生）
ふりがな
お名前①　（　　歳、男・女。　学校・幼稚園　年生）
ご住所　〒
電話：（　　）　－　ＦＡＸ：：（　　）　－
Ｅメール

本事業は、第 11 回「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」より助成を受けております。

2020 年度神戸県民センター　環境学習プログラム推進事業

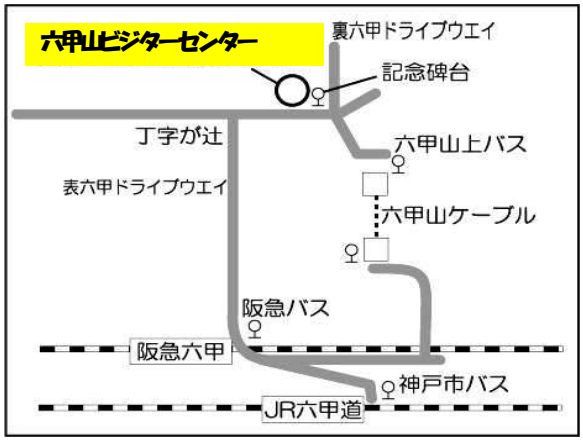
2020年「六甲山・子どもパークレンジャー」特別観察会

「二つ池でトンボたちを探そう！」 参加のてびき

このたびは「二つ池でトンボたちを探そう！」にお申し込みいただき、ありがとうございます。
当日の進め方や注意事項などをご説明します。十分に準備をしてお越しください。
今回の活動拠点は**県立六甲山ビジターセンター**です。同センターに直接集合してください。なお、阪急六甲発記念碑台行きのバスは9：15発のみで不便です。**六甲ケーブル**(**六甲ケーブル下駅9：00発、山上バス9：20発、記念碑台9：25着**)をご利用ください。また、直前の交通事情もご確認ください。

●とき・ところ

とき：**2020年9月20日（日）　10:00～15:00　小雨決行**
※中止の場合は午前7時30分時までにご連絡します。
ところ：県立六甲山ビジターセンター、記念碑台周辺の雑木林
当日の連絡先：六甲山を活用する会・事務局
堂馬（どうま）　TEL090－3288－0569



●集合場所・受付（直接上山の方）

集合場所：**兵庫県立六甲山ビジターセンター**
（TEL078－891－0616　開館は9：30～16：00）
集合時間：**9：30　（解散は同じ場所で15：00）**
（集合場所までの交通費は各自ご負担ください。記念碑台には無料駐車場があります）
受付：**9：30から　（参加費をお支払いください。資料等を配付）**
参加費：**1人500円**（**教材、傷害・賠償保険料を含む**）

六甲山ビジターセンター

●服装・持ちもの

服装：帽子、長袖、長ズボン、**長靴（持参）**、ハイキング靴など、雨具類（池のそば、雑木林に入ります）。
持ちもの：軽リュックサック、水筒、弁当、着替え（靴下の替え等）、タオル、ハンカチ、ポケットティッシュ、筆記具、ビニール袋（濡れたもの、ゴミ等を入れます）、おやつ（観察中は食べられません）、昆虫・トンボ類のポケット図鑑（持っておられる方はどうぞ）、捕虫網、虫かごなど。

●注意事項

静かに観察：記念碑台から徒歩10分の「二つ池」と名づけた雑木林で、トンボを観察・調査します。静かに観察します。捕まえた昆虫は逃がしてあげましょう。
虫類の調査：参加者の皆さんに調べていただいた調査結果はまとめて役立てます。
防虫対策：蚊が多いので、防虫ネット、手袋、防虫スプレー、蚊取り線香、かゆみ止めなど、各自で対策してください。

●主催機関

主催：六甲山を活用する会、補助：兵庫県神戸県民センター、協力：神戸小動物生態研究会、六甲山観光株式会社
助成：阪急阪神 未来のゆめ・まち基金、コープこうべ環境基金
運営：六甲山を活用する会 （まちっ子の森・クラブ運営委員）
（お問い合わせ　TEL：078－843－1494）

六甲山を活用する会
〒657-0024　神戸市灘区楠丘町 5-3-5
ワークスタイル研究所内
ＴＥＬ＆ＦＡＸ：０７８－８４３－１４９４
E-Mail：info@rokkosan-katsuyo.com

●当日のプログラム

9:30　受付開始　　六甲山ビジターセンター入り口

（参加費をここでいただきます。出席確認、資料などの配付）

※早く着かれた方はビジターセンター内の展示を見学され、記念碑台の広場で虫取りを楽しんでください。

上池でトンボとり

10:00　六甲山ビジターセンター・レクチャールームに集合

10:05　はじめに:

主催のあいさつ:六甲山を活用する会　代表幹事　　堂馬　英二

本日の案内:日本自然保護協会　自然観察指導員　久門田　充

日本自然保護協会　自然観察指導員　太田　正則

10:10　二つ池の様子とトンボの観察・調査についてのお話

①今年の二つ池の自然環境と水生生物について

（スライド、標本などで紹介）

②今日のトンボの観察と調査の進め方について

ルリボシヤンマをつかまえた！

10:35　二つ池に移動し、観察調査をする（記念写真を撮影後）

「まちっ子の森」に向かいます。上の池でトンボや水生生物の調査・観察をします。整備して明るくなった雑木林で、昆虫採集し、樹木を選んで「ファミリーウッド」の名札を付けます。

3グループに分かれて活動します。各グループは20名程度で指導者とサポーターがお世話します。（当日にグループ編成表を配付）

各グループ
■「まちっ子の森」の自然・地形を観察しよう ■池の様子を静かに観察しよう「何か生き物はいるかな？」 ■トンボたちの観察をしよう（動き回らずに静かに観察する） ■見つけたトンボたちの特徴や名前を調査票に書き入れる。 ■気に入った樹木を探して「マイウッド（ファミリーウッド）」にします。
※　調べたこと、気づいたこと、発見したことを 「子どもパークレンジャー・手帳」にメモしよう！

12:15　昼食（「まちっ子の森」の気に入った場所で、グループ別に分かれます）

午後も引き続き観察・調査。池の中のヤゴ、周囲の昆虫も調べる。昆虫採集もする。

「まちっ子の森」全体を散策。マイウッド（ファミリーウッド）に名札をつける。

14:00　ビジターセンター・レクチャールームで観察・調査のまとめ

記念碑台と二つ池で観察・調査したことのまとめをしよう。

各自がグループ活動シートに記入。

終わりのあいさつ

15:00　解散　　気をつけてお帰りください。

●お願い

広報写真のご了解:参加された皆さんの活動ぶりを写真撮影し広報に活用します。写真の撮影や利用についてご都合の悪い方は受付でお申し出ください。

サポート会員募集:参加者を「まちっ子の森・クラブ」に登録し、継続的に行事案内をします。保護者の皆さんにはサポート会員（年会費2000円）として連絡費用などをご支援いただきたいと願っています。サポート会員募集キャンペーンとして、**3回以上参加**のお子様に**「たっぷり参加記念品」**を提供しています。

新型コロナ防染対策:手洗い、消毒、3密対策等にご協力ください。

六甲山を活用する会

特別観察会2「二つ池でトンボたちを探そう！」

2020年9月20日

①あづま屋で受付

②記念碑台で虫捕り

③太田講師のガイダンス１

④三密対策でガイダンス

⑤ビジターセンター前で５９名集合

⑥森に到着、まず拠点づくり

⑧カワセミが飛んできて
ビックリ！　一瞬でした
『野鳥写真図鑑』から引用

⑦Ａ・Ｃが上池で静かに観察

⑨Ｂも観察に参加

⑩オオルリボシヤンマ
のヤゴ

⑪オオルリボシヤンマ

⑫アカガエルも見つけた

⑬家族で楽しく昼食

⑰センターでグループ活動のまとめ（Ａ）

⑱大田講師の全体まとめ

⑭マイウッドを決めた

⑯ビジターセンターに
戻って、まず足洗い

⑮シートを片付け退出

⑲左⑳右　最後は全員が集まり終了

行事:2020 年六甲山子どもパークレンジャー特別観察会2
「二つ池でトンボたちを探そう！」

開催:2020年9月20日(日)10時集合～15時解散
場所:県立六甲山ビジターセンター、まちっ子の森
目的:■二つ池でトンボたちを調べる
■まちっ子の森で雑木林を散策し、マイウッドを決める
天候:晴れ、気温:18℃
参加者:参加者子ども29名、大人21名、合計50名
（男子21名、女子8名、男性12名、女性9名）
スタッフ:9名(男性8)　総勢59名
主催:六甲山を活用する会
補助:兵庫県神戸県民センター

実施概要:
1. 10時00分:A･Bのガイダンス①、講師･スタッフ紹介。トンボのお話。集合写真の後、まちっ子の森に移動。Cのガイダンス②、遅れて森に移動し合流。
2. 10時50分:二つ池･上池でウシガエル捕獲の後、10分黙って観察、ルリボシヤンマなどを観察。トンボのヤゴ、オタマジャクシや成虫を捕捉し観察。生きもの調査。
3. 13時40分:ビジターセンターに戻りグループでまとめ。
4. 14時50分終了、15時解散:

実施結果:
1. トンボ調査:上池にカワセミが飛来し歓声。オオルリボシヤンマなどを確認し、子どもたちは昆虫探しに熱中した。
2. 大人数で賑わった。晴れで涼しく、3グループに分かれて活動し、初秋の六甲山の観察会を楽しんだ。

2020 年 9 月 30 日　六甲山を活用する会　事務局作成

イベント実施報告書（２０２０．９．２０実施）

イベント名称	2020年六甲山子どもパークレンジャー　特別観察会 「二つ池でトンボたちを調べよう！」
主催・協力・後援など	主　催　：六甲山を活用する会、補　助：兵庫県神戸県民センター 運　営　：六甲山を活用する会、協　力　：兵庫県立人と自然の博物館 後　援　：環境省近畿地方環境事務所、神戸市教育委員会、灘区役所
実施目的・主要テーマ	■二つ池でトンボたちを観察する、■二つ池で生きものを観察する、 ■まちっ子の森で、雑木林を散策してマイウッドを決める
開催日時	令和2年　9月　20日（日）　開始　10時　00分～　終了　15時　00分
開催場所	県立六甲山ビジターセンター、まちっ子の森
天　　候	天候:晴れ、気温:18℃（11:00まちっ子の森）
参加者	参加者総計:59名　子ども　29名、大人　30名、スタッフ　9名 （男子:　21名、女子:8名、男性20名、女性10名）　総計59名（※幼児4名含む） 参加者:　50名　（男子:　21名、女子:8名、男性:12名、女性　9名）
運営スタッフ ■講　師	講師：太田　正則、進行係・記録：堂馬 受付・グループ担当：岡谷、吉賀・川田、中尾・伊谷 カメラ・事務局：堂馬・村上和、会計・報告書：堂馬
実施内容	<設営・受付>:8:30～10:00 1.【開始時・活動前半】:10:00～12:30 ①10:00～30:レクチャールームでA・Cグループのガイダンス①:代表の挨拶、太田講師が活動予定、トンボの解説後、ウシガエルの防除も説明。Bはあづま屋でグループ活動。 ②10:30～11:20:集合写真を撮影。A・Cはまちっ子の森に移動しブルーシートを敷いて拠点づくりしてグループ活動。上池で折り畳みに座り、10分ほど「静かに観察」して調査。Aは下池の水生生物を採取し調査。Cは森の散策。 ③10:40～11:30:Bのガイダンス②。終了後、森に移動して拠点づくりし、上池で「静かに観察」し、生きもの調べを続ける。 2.【森の中で昼食・午後の自由活動】:12:30～13:40 ①各グループが木陰で昼食を楽しみ、トンボなどの生き物しらべ、森の散策も行なう。9家族はマイウッドを選んで木札を取付け。 3.<活動後半>:13:50～14:50 ①ビジターセンターに戻って、観察のまとめ、生きもの標本の観察。 ②レクチャールームや屋外に分散して、グループ活動②、感想紹介しアンケートに記入。 ③太田講師の活動まとめ、閉講の挨拶・閉講。１５：００解散。
実施結果	①17家族62名の申込みがあり、悪条件もあったが大勢を受入れて3グループ別個に活動するなど運営を工夫した。当日4家族11名が欠席して16家族59名になったが、運営には苦労した。当日は晴れで涼しく、快適な活動ができた。 ②二つ池の水生生物に脅威を与えるウシガエルの生息を解説した。ウシガエルは捕獲できていなかったので現物の解説は省いた。水生生物調査で例年通りの種類を観察できたので、まだ被害は顕著でないと確認した。 ③採取・観察できたトンボや昆虫は、アオイトトンボ、タカネトンボ、オオルリボシヤンマ、ルリボシヤンマ、リスアカネ、アキアカネなど。水生生物は、オオミズスマシ、ヤゴ（ルリホシヤンマ）、モリアオガエル（オタマジャクシ）、ヤマアカガエルであった。観察初めにカワセミが初めて飛来して驚いた。いつもながら、子どもたちの好奇心や観察の目の鋭さに感心した。 ④久門田さんが手配された、モリアオガエルの標本の観察と解説も好評だった。
備　　考 （会計、記録、保管資料等）	①許容範囲を超えるような大人数であったが、参加者が満足されて安堵した。 ②参加者は「まちっ子の森・クラブ」に登録し、写真・記録などをメールマガジンで送付する準備をしている。

令和　2年　9月30日　作成:六甲山を活用する会・事務局

2021年 冬の 六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！

六甲山上の まちっ子の森 で、凍った池や雪の雑木林など、冬の六甲山の自然をみつけて楽しみましょう！

とき：2021年1月17日（日）
※少雨は決行します
集合：県立六甲山ビジターセンター
10時開始～午後3時解散
場所：記念碑台周辺、まちっ子の森

A. パークレンジャーコース
対象：小学校3年生以上（児童のみ）
森で調べる！
六甲山の自然や生物を調査したい、学習したい方

B. ファミリーコース
対象：5歳以上の子ども・家族、一般
森に親しむ！
六甲山の冬の自然環境に親しみたい方

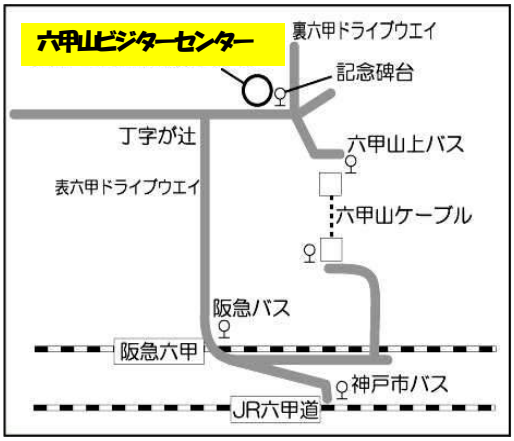
参加費：500円（交通費は個人負担）
（保険料、教材費などを含む）
定員：各コース20名（先着順）
持ち物：防寒具・弁当・水筒・筆記具など

集合：六甲山ビジターセンター
受付：9:30～

午前のプログラム
10:00：開講 、進め方・お話
10:30～12:30
冬の自然に触れる、冬の自然を調べる

昼食

午後のプログラム
13:00～14:30
冬の生きもの調べ、調べたことをまとめて発表
15:00：解散



【お申し込み・お問い合わせは】
六甲山を活用する会／事務局
〒657-0024　神戸市灘区楠丘町5-3-5
TEL &FAX 078-843-1494
メール info@rokkosan-katsuyo.com
http:///www.rokkosan-katsuyo.com

六甲山を活用する

阪急阪神 未来のゆめ・まち プロジェクト
阪急阪神ホールディングスグループは、
従業員と共に、沿線の市民団体を応援しています。

主催：六甲山を活用する会
補助：神戸県民センター環境学習推進事業
協力：六甲山観光株式会社、六甲山ビジターセンター
後援（予定）：県立人と自然の博物館、神戸市教育委員会、環境省近畿地方環境事務所、神戸県民センター、灘区役所
助成：コープこうべ環境基金、阪急阪神 未来のゆめ・まち基金

QRコード

参加お申し込みの方は下記をご記入の上、この案内用紙を切らずにファクシミリにてお送りください。
Eメールにてお申し込みの場合は、観察会の名称・開催月日と下記の内容を送信してください。
ＦＡＸ：０７８－８４３－１４９４　　Ｅメールアドレス：info@rokkosan-katsuyo.com

ふりがな
お名前①　　（　　歳）Aコース・Bコース　（　　）小学校（　　）年生／または

ふりがな
お名前①　　（　　歳）Aコース・Bコース　（　　）小学校（　　）年生／または

ご住所　〒

電話：（　　）　　－　　ＦＡＸ：（　　）　　－　　Ｅメール

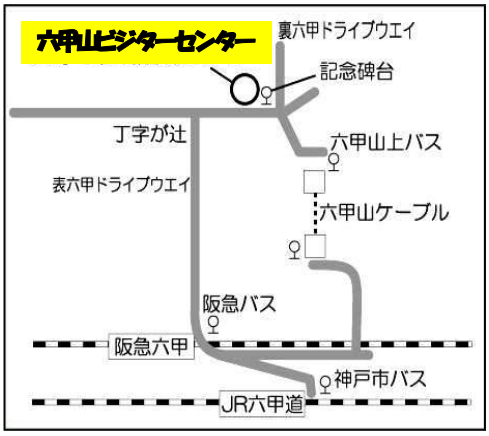
※参加のお申し込みは、1月8日（金）までにお願いします。

本事業は、第11回「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」より助成を受けております。

2021年冬の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」

参加のてびき（１／１０作成）

この度は「子どもパークレンジャーを目指そう！」にお申し込みいただき、ありがとうございます。
当日予定の詳細をご確認の上、万全の準備でお越しください。



●とき・ところ

とき：2021年1月17日（日） 小雨決行

＊中止の場合は当日**午前7時半**までにご連絡します。

ところ：**六甲山ビジターセンター、まちっ子の森**

● 当日の連絡先

六甲山ビジターセンター：TEL078－891－0616
六甲山を活用する会事務局(灘区)：TEL:078－843－1494
代表幹事：堂馬　携帯　TEL:090－3288－0569

●参加者のコース分け

A. 子どもパークレンジャーコース（小学校3年生～6年生　10名程度）
※小学校3年生以上または、過去2回以上ご参加のお子様など。

B. ファミリーコース（子ども・大人　10名程度2グループ）
※今回、初めてご参加の方、または小学校低学年以下のお子様と同伴の保護者。

ストーブも設置

●交通・集合場所・時間

①ケーブルご利用の方

※六甲ケーブル下駅集合　：　集合時間　9:00（受付8:50）→解散時間　15:30
市バス16系統で JR 六甲道発8:11、阪急六甲発8:14が便利です。

●六甲ケーブル・山上循環バス（往復）　※六甲ケーブル下から参加の方は別途交通費をご負担
（六甲ケーブル下駅までの交通費は各自ご負担。市バスのエコファミリーは同伴子ども2名が無料）

②お車または、直接会場へ行かれる方　（積雪にご注意）

※六甲山ビジターセンター集合　：　集合時間　10:00（受付9:50）→解散時間　14:45
駐車場は、記念碑台駐車場をご利用ください。（無料駐車場 10 時～17 時。センターまで徒歩3分）

●参加費　（受付でお支払いください）

①一般参加費：500円（4歳以下の幼児を除く）～資料代・傷害および賠償保険料なども含む
②ケーブル利用の参加費：子ども（小学生以上）1，000円、大人1，500円
※六甲ケーブル・六甲山上循環バスの乗車賃（往復）、資料代・傷害および賠償保険料なども含む。

●服装・持ちもの

服装：防寒具、帽子、手袋（予備）、ハイキング靴（長靴・スノーシューズがいい）、マフラー、タオル、雨具類。
持ちもの：軽ザック、筆記具、弁当、食器（カップ・箸・スプーン）、水筒、お湯（魔法瓶）、着替え（靴下の替え等）、おやつ（アメやチョコレート等）、ポケットティッシュ、ビニール袋（濡れたもの、ゴミ、拾った木の葉等を入れます）、使い捨てカイロなど。

※荷物は六甲山ビジターセンターに置いて、おやつ・飲み物など簡単な持ちものを移動します。
※ゴミは自分で持ち帰っていただきます。温暖化防止などにもご協力をお願いします。

●新型コロナウイルス感染防止対策にご協力ください。～マスク着用、消毒、3密対策

●デジカメ（SD カード）、スマホ～六甲山の冬を発見して記録し、午後は写真を鑑賞します。お持ちのものをご持参ください。

●主催機関など

主催：六甲山を活用する会　**（問い合わせ先　堂馬携帯TEL** 090－3288－0569）
協力：兵庫県立人と自然の博物館、六甲山観光株式会社
後援：環境省近畿地方環境事務所、神戸市教育委員会、灘区役所

●当日のプログラム

8:50　六甲ケーブル下駅集合　※同じケーブルに乗ります。時間厳守です。
（※出席確認、保護者のお見送り。参加費はここでいただきます。）
9:20　ケーブル乗車
9:30　六甲山循環バス乗車～記念碑台
（※お車の方は、9時45分から15時で記念碑台駐車場をご利用下さい。**積雪にご注意**）
9:40　六甲山ビジターセンター集合
（※直接お越しの方は、六甲山ビジターセンターにて受付いたします。）

10:15　開会:レクチャールーム　進行担当:六甲山を活用する会
ごあいさつ:　六甲山を活用する会:　代表幹事　堂馬　英二
神戸県民センター・県民課:担当
すすめ方＆なかま紹介
神戸小動物生態研究会:久門田　充ほか
グループ編成と世話役の紹介（今回から**自主活動**を進めます）
Aコース1グループ編成、Bコース2グループ編成

10:45　朝のプログラム

A. 子どもパークレンジャーコース	B. ファミリーコース
「まちっ子の森」などで、冬の景色や生きもの・植物などに印象深いものを発見しましょう！ 凍った池や雑木林を自由に散策していただきます。	
「冬の六甲山を知ってみよう」 ※「まちっ子の森」で自然を観察・調査する ・冬のさまざまな“いのち”を知ろう	「冬の六甲山の自然に触れてみよう」 ※「まちっ子の森」で自然を楽しんでみる ・ふだんの暮らしとどんな違いがあるだろう
初めての参加者は「マイ・ウッド」（わたしの樹、または家族の樹）を決めて名札を付けます。	
※　観察地域で発見したことを「ノート」にメモし、**写真**も撮影しよう！	

12:30　昼食（各自ご用意下さい）　※温かいお湯をサービスします
（カップラーメンなどを持参されれば、給湯できます）

13:15　午後のプログラム　進行担当:六甲山を活用する会
記念集合写真撮影

A. 子どもパークレンジャーコース	B. ファミリーコース
お話:「六甲山の冬と生きものを知ろう」（皆さんが観察して撮影した**写真**を紹介します）	
「まちっ子の森で観察したことなどを、まとめよう」 「冬の六甲山」の感想を発表しよう」	「まちっ子の森で観察したことを紹介しよう」 「冬の六甲山の感想を伝えよう」

14:00　代表・グループの発表、清掃、アンケート記入
14:30　閉会・解散　**“次は6月のモリアオガエル観察会で会いましょう！”**

14:50　六甲山ビジターセンター出発
15:30　六甲ケーブル下駅到着・解散　（保護者のお迎え）

●広報写真のご了解のお願い

参加された皆さんの活動ぶりを写真撮影し、広報に活用します。写真の撮影や利用についてご都合の悪い方は受付でお申し出ください。

●ボランティア保険

参加された皆さん全員にボランティア保険をかけていますので、その範囲（通院費）で補償いたします。

六甲山を活用する会

2021年冬の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」

2021年1月17日　総参加者４６名　まちっ子の森＆六甲山ビジターセンター

ケーブル下に集合

記念碑台に到着

レクチャールームで開講

ルームは3密対策

森への道に雪が残っていた

センター前に46名が集合

氷が張った上の池

森でシートを広げる

上池で氷を撮影

氷の結晶

凍った下の池

氷の厚さは3cm以上

氷の上を歩いてみる

マイウッドの札づくり

マイウッドで記念写真

ワゴンを押してセンターに戻る

カップラーメンが人気

グループで体験をまとめ

体験を発表する

ケーブルで下山

ケーブル下で解散

●曇りのち晴れで森は1℃。子ども24名、大人15名、スタッフ7名の46名が参加しました。寒波の影響で二つ池に厚い氷が張り、歓声が上がりました。氷上を歩いたり氷をスマホで撮影したりして、冬の自然を堪能しました。初参加の方は森でマイウッドを選んで記念撮影をしました。●昼過ぎにまちっ子の森での観察を終えて、ビジターセンターに戻り昼食です。撮影した写真をパソコンに取り込んで鑑賞し、森での体験や観察をまとめました。●感想を発表して14:30に終了しました。6月のモリアオガエルで再会しましょう！　1月17日　六甲山を活用する会

イベント実施報告書（2021年1月17日　実施）

イベント名称	2021年冬の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」
主催・協力・後援など	主催：六甲山を活用する会、運営：「まちっ子の森クラブ」運営プロジェクト 協力：六甲山ビジターセンター、六甲山観光（株） 後援：環境省近畿地方環境事務所、神戸県民センター、神戸市教育委員会、灘区役所
実施目的・主要テーマ	冬の六甲山の自然に触れてみよう（まちっ子の森で、真冬の自然を見つけよう） ①冬の六甲山の自然に親しみ子ども達がたくましく育って行くのを支援する。 ②六甲山の自然環境を守ろうとする自主性を身につける。 ③子どもパークレンジャーの仲間をつくる。
開催日時	2021年1月17日（日） 開始１０時１５分～　終了１４時３０分
開催場所	拠点：六甲山ビジターセンター、活動地域：まちっ子の森
天候	天候：曇りのち晴れ。気温：１℃（まちっ子の森）
イベント参加者	参加者：男性４名・女性１１名、男児１４名・女児１０名 合計：３９名（内幼児３名）（内訳）初参加4家族11名＋1名 上筒井小3名、山の手小1名、なぎさ小1名（中央区5名）、六甲山小3名、成徳小1名、西灘小1名（灘区6名）、大阪教育大附属池田小1名。 幼稚園：垂水区5名、灘区3名、中央区2名、計9名。 地域：中央区11名、灘区；15名、垂水区12名、川西市1名、計39名。
運営スタッフ	講師：久門田充・堂馬英二、指導者：村上和、関根　優樹、川田　照義、今榮　博司 受付：堂馬・関根。六甲山ビジターセンター受付：村上和。 進行管理：久門田・村上和・川田。記録係・カメラ：久門田・関根・今榮・村上和・川田・堂馬、参加者有志。会計・報告書：堂馬。※拠点：六甲山ビジターセンター ※オブザーバー：県民センター・前田　周亮
実施内容	【グループ構成】13家族39名と参加者が多数なので、A 経験者グループ、B 初参加グループ、C かすがようちえんグループの3グループに編成して運営した。 1．開始時・活動前半：１０：１５開催の挨拶、スタッフ・オブザーバの紹介、スマホ撮影を含めた活動の進め方の説明の後、参加者同士で取り組み方を検討した。 2．３グループが時間差を置いて出発しまちっ子の森に向かった。散歩道のところどころに残雪残っていた。まちっ子の森に集合して、まずグループごとにブルーシートを広げた。そして二つ池の上池を観察し、厚く氷が張っているのを見て感激した。氷の厚さを調べ、氷上を滑って時間を忘れて楽しんだ。氷を顕微鏡で観察しマクロレンズで撮影もした。初参加のBグループの家族はマイウッドを決めて記念撮影をした。 3．活動後半：１２時半にビジターセンターに戻って昼食をとった。ストーブが入っており、給湯サービスもあり、温かいカップラーメンが人気であった。撮影写真のパソコンへのデータ取り込みも並行して行った。１３時から久門田さんのリードで、観察したことや体験できたことを参加者に投げかけて振り返った。終盤にアンケートを記入しながら、収穫や感想をまとめた。 4．最後は各家族の父兄や子どもが感想を発表した。１４：３０にあわただしく終了して、ケーブル組は１４：４０の臨時バスでケーブルを経由して１５時過ぎに解散した。
実施結果	1．年末から2度の寒波襲来で、久し振りで六甲山に積雪や池の結氷があり、冬らしい六甲山を体験できる期待が大きくなった。当日は積雪が消えていたが、二つ池には数年ぶりの厚氷が張っていた。参加者は大喜びして氷を取り、顕微鏡で観察した。氷の上を歩いて時間を忘れて楽しんだ。六甲山の冬の自然に没入して堪能した。 2．短時間だったが、森を散策して、クロモジの新芽などを観察した。初参加家族は気に入った樹木を探してマイウッドを選定した。氷の結晶撮影んどで足元の様子をクローズアップして見たことは、保護者も感激したとの報告があった。 3．ビジターセンターに戻って、昼食の後、久門田講師の指導で、まちっ子の森の体験を振り返った。参加者に体験を問いかけて、冬の生きものの生息や雑木林などの理解を深めた。スマホやデジカメで撮影した写真も鑑賞した。 4．想定以上の46名の参加になったが、コロナ対策を行いつつ、参加者の自主的な活動を促進した。特にAの経験者グループでは、積極的に交流できていた。
事後処理（報告など）	1．アルバム付きの報告書を参加者に送付するほか、HPで活動写真を掲載する予定だ。 2．今回39名の参加者になった。募集チラシを2，000枚配布したほか、いろんなメディアにも広報した結果である。

「まちっ子の森・クラブ」の「サポート会員」募集

●貴重な自然環境の「まちっ子の森」を活かしましょう！

●「まちっ子の森・クラブ」を運営し育てましょう！

1．参加者を「まちっ子の森・クラブ」に登録しています

六甲山上の放置山林を整備し、自然体験や環境学習の拠点として「まちっ子の森」を活用しています。当会の催しに参加された方をクラブメンバーとして登録（無料）して、継続的に体験・学習する機会を提供しています。次の3段階で成長を育みます。

① 初心者は、「六甲山の自然環境に親しむ」体験

② 経験者は、「六甲山の森や生きものを調べる」学習

③ 年長者には景観の整備に加わるなど、「六甲山の森を守る」経験

中学生以降も情報提供や活動案内をして、将来は活動の担い手になってもらうことも期待します。

2.「サポート会員」になって支えてください

「まちっ子の森」は多くの方のご尽力や地権者のご厚意に恵まれて実現しました。国立公園六甲山地区で、安全に自然体験できる稀有な環境を市民団体が管理しています。「まちっ子の森・クラブ」は最も有力な利用者で、「まちっ子の森」の有用性をアピールしています。

行事に参加する「お客様」感覚から、「まちっ子の森」を利用する関心を高めていただいて、参加者自らイベントを自主的に運営するなど、主体的な活用が広がることを願っています。

「まちっ子の森・クラブ」の保護者の方には、「サポート会員」になっていただいて、「まちっ子の森」の活用に参加していただくことを期待しています。

「サポート会員」の皆さんには、当会の事務局から活動の計画や報告などの連絡を密に図っていきます。参加の仕方はご希望やご都合をうかがって、可能な範囲でのご協力をお願いします。

また、「まちっ子の森・クラブ」の運営に積極的に携わっていただける有志の方も募っていきます。当会の関係者や専門家と一緒になって、「まちっ子の森・クラブ」の方針や運営についても、自由な意見交換をしたいと考えております。そして、有志の方々で自主運営されるのを支援します。

3.「サポート会員」は年会費2，000円です

当会はボランティア活動を基盤にしている市民団体で、年会費2,000円でどなたにも入会できます。会費は連絡の費用に充てており、各種の事業は民間の活動助成金などの収入を基に運営しています。「まちっ子の森・クラブ」は、当会の会員組織の分科会という位置づけにして、連絡・維持経費は年会費に助成金などの一部を加えてまかないます。

「サポート会員」は年会費2,000円のみで、当会の会員として兼用します。「まちっ子の森・クラブ」に登録された方（ご家族）宛に定期的にメールでご案内をしますが、「サポート会員」の方には、より詳しく密なご連絡をいたします。

裏面が「サポート会員・入会申込書」になっております。必要事項にご記入いただいて、FAXまたはメールで送信してください。

2020年2月1日

六甲山を活用する会　代表幹事　堂馬　英二

六甲山を活用する会

〒657-0028　神戸市灘区森後町 2-3-7　ワークスタイル研究所内

ＴＥＬ０７８－８５６－４７５６　ＦＡＸ０７８－８５６－６６１６

E-Mail：info@rokkosan-katsuyo.com

http://www.rokkosan-katsuyo.com/

活動の対象地域地図

ご支援いただいた機関・団体の皆さま

当会の環境学習プログラムの開催と報告書の発行に対して多くの皆さまからご支援をいただきました。下記の皆さまに改めてお礼を申し上げます。

主催：六甲山を活用する会（六甲山まちっ子の森・クラブ）
協力：兵庫県立人と自然の博物館、六甲山観光株式会社、六甲山環境整備協議会、神戸小動物研究会
後援：環境省近畿地方環境事務所、兵庫県神戸県民センター、神戸市教育委員会、灘区役所
助成・委託：阪急阪神未来のゆめ・まち基金、コープこうべ環境基金、兵庫県神戸県民センター、灘区役所

「２０２０年度環境学習プログラム実施報告書」
発行日　：２０２１年２月２０日
編集制作：六甲山を活用する会
制作協力：株式会社ワークスタイル研究所

六甲山を活用する会

Friends for Activating Life with Rokkosan

〒657-0024　神戸市灘区楠丘町 5-3-5　ワークスタイル研究所内

ＴＥＬ＆ＦＡＸ：０７８－８４３－１４９４

Mail：info@rokkosan-katsuyo.com

URL：http://www.rokkosan-katsuyo.com/